

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2021.7 July vol.55-1

六月定例議会一般質問概要

支え合う仕組みづくり

安心して住み続けられる地域に

6月8日から7月1日まで定例

議会が開かれました。議会では、

知事提出議案のコロナ対策等 90

億円の一般会計補正予算案や条

例改正案など 23 件、地方財政の

充実強化を求める意見書など議

員提出議案 3 件を可決承認しま

した。新型コロナウイルスによる県

民の不安への対応や、安心して暮

らし続けることができる地域づく

りなどの取り組みが必要です。

労働者協同組合法による

地域振興

労働者協同組合法は昨年 12

月に成立した議員立法による法

律です。労働者協同組合は、組

員提出議案 3 件を可決承認しま

した。新型コロナウイルスによる県

民の不安への対応や、安心して暮

らし続けることができる地域づく

りなどの取り組みが必要です。

に定めた事業に従事します。自

分らしい主体的な働き方を実現

するとともに、多様な就労の機

会を創出し、地域の課題解決、

持続可能な活力ある地域社会の

実現に資する協同組合と言われ

ています。

この法律によって、地域課題

や身の回りの課題の解決に、思

いを一緒にする 3 人以上の人た

ちで活動の取り決めなどを定め

届け出によって組合を作ること

ができ、地域の高齢者、女性、

若い世代の雇用を自ら創出する

もので、これからの地方創生に必要不可欠な法律です。地域で働く人が創出できることにより地域内経済が循環し、地域振興につながると考えます。

来年 12 月までには法律が施行されます。主管行政庁は都道府県です。この法律の意義を県民に周知し、すでに活動している団体がこの法に則った法人に移行していくことや、新たに設立する人たちの支援などの法施行を進める体制を作ることを知事に求めました。

中山間地域の公共交通確保

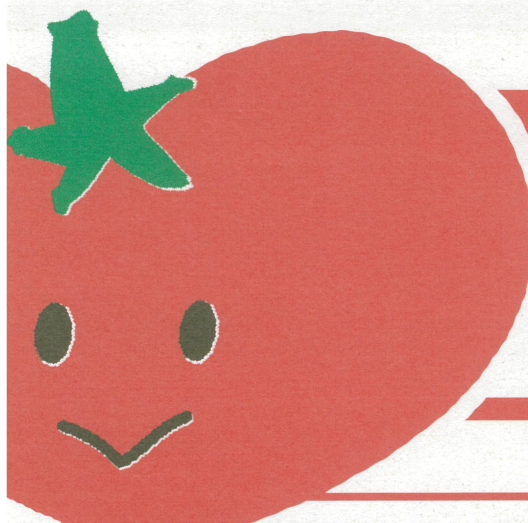
県は、地域住民が主体となつて、従来の集落の範囲や単一では続けていくことが難しい活動や事業を組み合わせていくこと

で、地域を維持していくための新しい仕組みである「小さな拠点づくり」に取り組んでおり、その中では地域内の公共交通の整備にも取り組んでいます。現行、地域内交通の確保に取り組み地域課題を取り上げ、改善に向けた取り組みを求めました。大田市温泉津町の井田地区の

デジタルディバイド

(情報格差)の解消

井田地区の定額タクシーは、ネットを使った予約システムを取り入れていきますし、今、接種が進むコロナワクチンの予約など、様々な公共サービスのデジタル化が進みつつあります。高齢者や障がい者、環境的にデジタル機器が使えない人たちが取り残されないよう、デジタルディバイド(情報格差)の解消への取り組みがデジタル化と並行して行われることを求めました。



4期目折り返し後半に 建設環境委員長として

県議会議員となつて14年、ありました。

4期目の任期も後半に入りま
した。5月の臨時議会で各種委
員会の委員の改選がありまし
た。私は、常任委員会では建設
環境委員会に所属し、委員長に
選任されました。責任を全うす
べく任期いっぱい全力で頑張
ります。

また、特別委員会はこれまで
同様、2つの委員会が設置さ
れ、私は中山間地域・離島振興
特別委員会に所属することに
なりました。そのほかに、引き
続き議会運営委員会の委員に
選任されました。

建設環境委員会質疑

今議会の建設環境委員会では、委員から、災害発生時には地域の建設業者の協力が必要であり、協力体制の構築を求める意見や、再生可能エネルギー発電所の建設には環境への影響が懸念され、県には発電事業に対する許認可等の権限がない中での対応について質問が

ありました。

執行部からは、再生エネルギー発電所建設には、環境保全の見地以外からの意見も含めて、知事の意見として国に提出するなどしているが、国による計画認可の可否の判断にあたって、必ずしも知事の意見が反映される制度になっていないことから、地元の理解が得られないまま事業が進められることがないような仕組みづくりについて、国への重点要望に盛り



高橋副委員長と角

込み取組を進めているとの回答がありました。

建設環境委員会の今期の調査テーマは、「省エネルギー社会の実現について」です。休会中はこのテーマに関する県内調査を行う予定にしており、脱炭素社会実現に向けて県としてどのような施策が必要か研究していきます。



上定市長と会派の議員と

県都松江市との連携

上定昭仁松江市長が県議会の議員控室に挨拶に来られま

した。島根の発展をけん引していくうえで、県都松江市と島根県の連携は欠かせません。松浦前松江市長ともこれまで情報交換しながら、松江市をはじめ県政課題の解決に当たってきました。これからも上定市長と連携を取りながら、島根の課題解決に取り組んでいきます。

コロナ禍の全国植樹祭

新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、開催が一年延期となった第71回全国植樹祭が三瓶山北ノ原でありました。東京



広葉樹の苗を植樹

都はじめ各地に緊急事態宣言が出ているため、例年、現地へ行幸啓される天皇后両陛下は、リモートでご出席という形で開催されました。本県での全国植樹祭開催は、昭和46年以来50年ぶりの2回目、前回、昭和天皇がお手植えになられたクロマツを赤坂御用地に運ばれ、天皇陛下がノコを入られ、スギやヤマザクラをお手植えされました。

私も会場近くでクヌギやナラなどの植樹をしました。朝から快晴で爽やかな天候のなか、式典と植樹は滞りなく進み、植樹祭の準備してこられた方々はホッとされたと同時に、記憶に残るイベントとなったことでしょう。